

1 単元名 ふるさとのよさ広がれ! 5年4組 北陽新聞

2 単元目標

- 見通しをもって活動し、適切な手段で情報を収集したり、集めた情報を整理・分析したりする力を高めるとともに、相手や目的に応じて効果的に表現する力を身に付ける。(学習方法に関すること)
- 北陽のまちのよさを新聞で伝えるといった、協働的・探究的な活動の楽しさを味わうとともに、自分の役割を果たす中で自己有能感をもつ。(自分自身に関すること)
- ふるさとの自然の豊かさ、人のあたたかさにふれる中で、「北陽のまちのよさ」について考えを深めたり、地域のためにできることを考え、実践したりしていこうとする態度を養う。
(他者や社会との関わり)

3 児童観(児童の実態と子どもの思い)

省略

4 教材観

北陽のまちの子どもたちは、北山を中心とした豊かな自然、自分たちの活動を見守り支えていただくあたたかい人たちに囲まれて育っている。しかしそれが子どもたちにとっては日常的なことであり、ふるさとのよさについて考えたり、感じたりする機会はたいへん少ない。北山の森林を守る活動に取り組む人、心を込めて稲作に取り組む人、あいさつを通して笑顔・やさしさを広めようとする人など、北陽のまちには多くの町を支える人々がいる。「北陽のまちならではのよさを新聞に書く」という活動において、改めて地域の自然や人と関わる中で具体的なまちのよさを知り、まちへの愛着を深めることが期待できる。また、取材、情報の整理・分析、表現といった学習方法に関する力をつけることもできる教材である。

一つの新聞記事の中には見出し、リード、写真、キャプション、本文と多くの内容がある。また、様々な視点から取材内容を整理するなど、新聞づくりには協働的に学ぶ必然性もある。また、この新聞を横浜市立北方小学校の5年生や、地域の方々にも伝えることで、他者を意識した活動が期待できる。総合的な学習で身につけるべき(学習方法に関すること)、(自分自身に関すること)、(他者や社会に関すること)資質・能力を、単元を通して身に付けることができる教材である。

5 指導観

○学習方法に関することについて

情報を整理・分析する力を高めるために、思考ツールを積極的に活用していきたいと考えている。新聞を書くためには、情報の収集、整理・分析、表現といった力が多く場面が必要となってくる。考えを広げる場面、情報を整理・分析する場面、情報を絞る場面、まとめ・表現する場面といった、それぞれにあ

った思考ツールを提示し、子どもたちがその有効性を感じながら、学びを深めていってほしい。

また、記事を書く上では題材の決定、取材、内容の整理・分析、まとめ表現といった多くの過程がある。さらに一つの紙面の中にも（見出し）（本文）（リード）（写真）（キャプション）といった多くの構成要素がある。課題の設定から方法や手順を考える中で、見通しをもった計画を立てる力も身に付けていってほしい。

新聞を伝える相手としては横浜市立北方小学校の5年生と、地域の方という2つの立場の人がいる。小単元の中で相手や目的が変わる中で、それに応じて効果的に表現する力も身に付けていってほしいと考えている。

○自分自身に関することについて

児童が本気で材に向かい、主体的に活動に取り組むことを大切にしていきたい。そのためにも毎時間、振り返りを書く時間をとり、子どもの問題意識や学び・気づきを次時の活動に生かしていきたい。子どもが意欲を持ち続けるためには夢のある具体的なゴールを設定したり、そのことに造詣の深い人に関わったりすることも必要である。本単元では山陰中央新報の記者であるMさん、Sさんとも関わり、新聞づくりの方法について教えていただいた。本物の人から学ぶことで、子どもたちの活動への意欲が高まり、めざす新聞像も明確になっていった。子どもの思いから活動を作りながら、学びを深めたり意欲を持ち続けたりするための「教師のしかけ」も大切にしていきたい。

○他者や社会に関することについて

「ふるさとのよさを新聞にまとめ、広める」という活動を通して、漠然としてとらえていた北陽のまちのよさを具体的に見つめ、ふるさとへの愛着を深めていってほしいと考えている。今回の活動では子どもの思いから、地域性の全く違う横浜市立北方小学校を相手として新聞づくりを進めていく。自分たちの町とは違うまちと比較することで、

- ・豊かな北山の自然があり、それを守ろうとする人々がいること
(島根県東部農林振興センターのOさん・Kさん・Mさん、川跡共有山林委員会のHさん)
- ・農業・林業に心を込めて取り組む人々がいること
(米作りをするKさん、こんにゃく作りをするYさん、さといも作りのOさん)
- ・笑顔・やさしさで子どもたちを見守っていらっしゃる方がいること
(稲岡郵便局長のHさん、川跡交番のMさん)
- ・歴史深い遺跡・文化財があり、それく詳しい方がいること
(鳶巣コミュニティーセンターのKさん)

といった、自分たちのまちのよさがはっきりとしてくる。取材を通してそれぞれのよさを表す人々に関わる中で、それぞれの人が行っている事実だけではなく、そこにある思いを感じ取ってほしいと思っている。漠然としてわかった「自然のよさ」「やさしい人」「農業・林業に一生懸命な人」と内容を、新聞記事に書くという活動を通して具体的にとらえ、「北陽の町ならではのよさ」を再確認してほしい。その中で地域の人関わり、地域のことを知り、情報を整理・分析する力も身に付けることができる。

また、活動のゴールとして、北陽のまちのよさを知り、まちを取り巻く自然や環境を大切にしようとする意欲と実践的な態度を身に付けていってほしい。

6 身に付ける資質・能力・態度

学習方法に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・北陽のまちのよさについて収集した情報を整理し、様々な視点から分析したり、推論したりして「伝えたいふるさとのよさ」について考える。 ・相手や目的に応じて新聞記事に表す内容を考えてわかりやすくまとめ、伝えたいことを効果的に表現する。
自分自身に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさとのよさを伝える」といための探究的な学習活動の楽しさを味わうとともに、自己有能感をもつ。
他者や社会とのかかわりに関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や仲間の得意な事を生かし、友達の考え方を受け入れながら新聞づくりに取り組む。 ・お世話になる方や、地域の方々に礼儀正しく関わり、感謝や尊敬の気持ちをもって相手に接する。 ・ふるさとの自然の豊かさ、ひとのあたたかさにふれるなかで、ふるさとへの愛着を深め、まちを大切にす。

7 基本構想図 「ふるさとのよさ広げれ! 5年4組 北陽新聞」 70時間

小単元	小単元の学習課題と学習活動 (○)	予想される子どもの思いや願い
1	<p>①「北陽のまちのよさを広めるためにできることは何だろう」 7時間</p> <p>○社会科の学習で日本の様々な特色のある地域のことを知ったことから、自分たちのまちのよさについて考える。</p> <p>○まちのよさをみつけるためにまち探検をする。</p> <p>○横浜市立北方小学校の5年生を相手として、まちのよさを伝える方法を考える。</p> <p>○北方小学校の校長先生から言われた「季節ごとに出してほしい」「地域の笑顔、やさしさの内容を伝えてほしい」ということから、新聞で伝える内容を考えていく。</p>	<p>○他のまちにはない、自分たちのまちのよさは何だろう。</p> <p>○自分たちや、地域の方は北陽のまちのよさを本当に知っているのだろうか。</p> <p>○新聞にまとめると、ふるさとのよさを写真や言葉で詳しく伝えることができそうだ。</p>
2	<p>②「新聞で伝えるべき北陽のまちのよさとは何だろう」 10時間</p> <p>○「北山の森林のよさ」、「農業に一生懸命取り組む姿」、「笑顔・やさしさ」をキーワードに、自分たちの体験や、保護者の方や地域の方々にインタビューしたことをもとにして北陽のまちのよさについて考える。</p> <p>○「北山の森林」「地域のやさしさを象徴する人」「農業に一生懸命に取り組む人」「鳶ヶ巣城の歴史」について詳しい人に会い、北陽の町のよさを具体的にとらえていく。</p> <p>○山陰中央新報のM、Sさんと出会う。</p> <p>○島根県東部農林振興センターのOさん・K、Mさん、川跡共有</p>	<p>○わたしたちが思っている北陽のまちのよさと、地域の方が思っているよさは同じなのだろうか。</p> <p>○自分たちが書きたいことについて詳しい人はいるのだろうか。</p> <p>○新聞はどうやって作るのだろうか。</p>

	山林委員会の H さんと出会う。	
3	<p>③「北陽のまちならではの北陽新聞を作ろう」13時間</p> <p>※本小単元</p> <p>OMさん、Sさんから取材の方法、文章の書き方、紙面の構成の仕方などを学び、自分たちの力で北陽新聞を作ってみる。</p> <p>○思考ツールを活用しながら、記事に載せる内容や、見出しなどについて考えていく。</p> <p>○できたものをMさんに読んでもらい、プロの新聞記者の方の視点からアドバイスをいただいて内容を修正する。</p>	<p>OMさん、Sさんから学んだ新聞づくりの方法をもとに、自分たちの力で北陽新聞を作りたい。</p> <p>○みんなで意見を出し合って紙面の構成や、記事に入れる内容を考えていきたい</p> <p>○自分たちの書いた新聞が、本当に「新聞」の内容になっているのか、MさんやSさんに読んでもらい、アドバイスをしていただきたい。</p>
4	<p>④「季節ごとのよさを表した、北陽新聞を作ろう」20時間</p> <p>○できあがった北陽新聞を横浜市立北方小学校に送り、感想をもらう。その感想を分析し、自分たちが伝えたかった「ふるさとのよさ」が本当に伝わったのか考える。</p> <p>○季節ごとに北陽のまちならではのよさを表した新聞を作る。</p>	<p>○「季節ごとに新聞を送ってほしい。」と北方小学校の校長先生はおっしゃっていた。秋の新聞、冬の新聞も作りたい。</p>
5	<p>⑤「地域に向けて北陽新聞を作ろう」20時間</p> <p>○地域の方にふるさとのよさを伝えるために、新聞を作る。相手が変わったことで、それに合わせて記事の内容も変えていく。</p>	<p>○自分たちが作った新聞を北陽のまちの人にも読んでもらいたい。ふるさとのよさをみなさんに改めて知ってほしい。</p>

8 小単元の学習活動の流れ

③「北陽のまちならではの北陽新聞を作ろう」 (全13時間)

(1) 小単元目標

○「ふるさとならではのよさを新聞で伝えたい」という思いの実現に向けて、思考ツールを活用しながら収集した情報を整理・分析する力を身に付ける。 (学習方法・考え判断する力)

○新聞づくりに向けての探究的な学習活動の楽しさを味わうとともに、新聞完成までの自分の役割を果たし、自己有能感をもつ。 (自分自身・学ぶ楽しさと創り出す喜び)

○自分や仲間の得意なことを生かして、ふるさとのよさを伝える新聞記事作りに取り組むことができる。 (他者や社会・他者と協働した課題解決)

(2) 関連する教科等

教科等	学習内容	時間数
国語	「新聞記事を読み比べよう」 記事と写真の関係に注意しながら新聞記事を読み比べ、書き手の意図を読み取る。	6
	「意見と理由を聞き取ろう」 複数の人の発言について、意見と理由を区別して、それぞれの共通点と相違点を考えながら正しく聞き取る。	3
	「資料を生かして考えたことを書こう」 資料から情報を読み取り、読み取った情報を活用して、文章を書いたり資料を選択したりする。	5

(3) 小単元の学習活動の流れ

	子どもの問題意識・学習活動	○教師の手立て ☆評価規準
1 2 3	<p>③「北陽のまちならではの北陽新聞を作ろう」</p> <p>13時間</p> <p>自分たちの力で新聞記事にできることを探そう</p> <p>・Mさんたちは「1」書くための「10」の取材と言っていた。新聞のテーマに合う、記事にできそうなことを自分たちの力で探したい。</p>	<p>○教師の手立て ☆評価規準</p> <p>本単元に臨む子どもの姿</p> <p>子どもたちは、山陰中央新報社のMさん、Sさんに新聞の作り方を教わり、新聞に対する見識を深めてきた。今度は自分たちでグループごとに新聞記事の担当を決め、北陽新聞を作りたいという思いを高めている。</p> <p>○取材シートをもとに、学級の新聞づくりのキーワードをもとに下調べをしていく。 ☆インタビューをしたり、資料を読んだりしながら、適切な方法で情報を収集している。</p>
4	<p>新聞記事の内容を決め、紙面の構成を考えよう</p> <p>・今まで出会った島根県東部農林振興センターのOさん・Kさん、川跡共有山林委員会のHさんたちから聞いた情報などの中から、どれを記事にすればよいのだろう。</p>	<p>○収集した情報の中から、北陽のまちならではのよさとして北陽新聞の記事として取り上げていくべきものを選んでいく。</p>

	<p>決まった記事内容</p> <p>○トップ記事（みんなで考えて作る）「北山の森林を守る活動について」</p> <p>○グループごとに作る記事</p> <p>（笑顔・やさしさ）①「稲岡郵便局長の H さん」 ②「川跡交番の M さん」</p> <p>（歴史） ③「鳶ヶ巣城の歴史」</p> <p>（自然） ④北陽の学区に広がる田園風景 ⑤鳶巣地域のホタル観賞会</p> <p>（農業・林業） ⑥こんにゃく作り名人の Y さん ⑦さといも作り名人の O さん</p> <p>⑧北山を守る Y さん</p>	
5	<p>トップ記事（東部農林振興センターへの出張授業・取材）の内容をみんなで考えよう</p> <p>・森林については取材をする中でたくさんの情報が集まった。北山ならではのよさを表すためには、どのような内容を載せればよいのだろう。</p>	<p>○板書をしながら「地域の方が北山を守っている」という事実を児童がとらえられるようにし、グループごとにホワイトボード・思考ツールを使って、新聞に書くべき内容を考えられるようにする。</p> <p>☆地域の方が守るという北山のよさについて話し合い、これまで取材をしてきた内容を根拠にして、トップ記事に書くべき内容を選んでいる。</p> <p>※トップ記事の書き方は、国語「資料を生かして考えたことを書こう」の学習と関連させる。</p>
6	<p>集めた情報を整理・分析し、グループごとの記事に載せる内容を考えよう</p> <p>・たくさんの情報はあるけれど、「北陽の町ならではのよさ」を表すためには、どのような内容を入れていけばよいのだろう。</p>	<p>○山陰中央新報の S さん、M さんと学んだ内容をもとに、記事に載せる内容を考えていく。</p> <p>☆「ふるさとならではのよさを新聞で伝えたい」という思いの実現に向けて、ふせん、思考ツールを活用しながら収集した情報を整理・分析している。</p>
7	<p>新聞記事を書こう</p> <p>・M さん、S さんに教えていただいた新聞記事の書き方を生かして、新聞を書いてみたい。どのような文章構成でかけばよいのだろう。</p>	<p>○ワークシートを使い、前文（リード文）、説明 1、説明 2、説明 3 の文章構成で書けるようにする。</p>
9 10	<p>見出し・写真・キャプションを決め、グループの記事を仕上げよう</p>	<p>○記事の内容とあった見出し・写真・キャプションの内容になっているか、グループで確かめながら決めるようにする。</p> <p>☆新聞づくりに向けての探究的な学習活動の楽</p>

		しさを味わうとともに、新聞完成までの自分の役割を果たすことができる。
⑪ 本 時	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">トップ記事に合った見出しを決めよう</div> <p>・見出し、写真は読み手を引きつけるために大切だった。グループでよく考えて、一番良いものにしたい。</p>	<p>○Mさん、Sさんに教わった、見出しの書き方をもとに見出しを書き、それにあった写真を決めるようにする。</p> <p>☆思考ツールを活用しながら、見出しの条件にあったものを客観的に選ぶことができる。</p>
12 13	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">水野さん、清水さんのアドバイスを生かして、</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">新聞記事を仕上げよう</div> <p>作るからには、プロの方から学び本物の新聞を作りたい。アドバイスを受けて内容を仕上げ、横浜市立北方小学校に送りたい。</p>	<p>○出来上がった記事をSさん、Mさんに送って読んでもらい、新聞記者の方から客観的なアドバイスがもらえるようにする。</p> <p>○Sさん、Mさんに読んでもらった感想をもとに、新聞を仕上げる。</p>